



おうちでの親子遊び No.1

ステイホームが続く中で、子育て中のお母さん、お父さん・・・本当に大変な毎日をお過ごしのことと思います。《5月のお知らせ》では『お散歩バッグ』と『まつぼっくりロケット』を紹介させていただきました。

今回は、おうちの中でできる遊びを載せてみました。やってみると大人も楽しめますので、ちょっとした時間に、我が家流にアレンジして遊んでみてください。

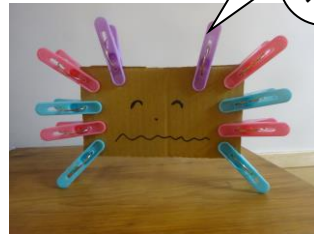
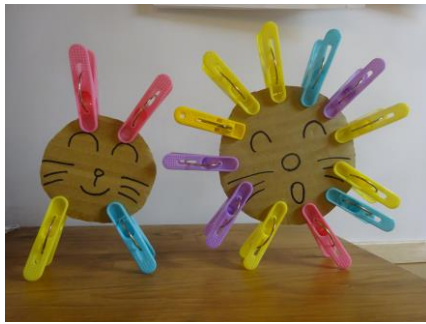
～せんたくばさみで遊ぼう～ 『これな～んだ？』

《材料》◆せんたくばさみ ◆ペン
◆段ボールくらいの厚さの紙（支援室では段ボールの側面を切って使っています。）

- 作り方**
- ① 段ボール紙に顔を描く。お母さんが描いてみせても良いでしょう。
 - ② ①を適当な形に切る。（まる・しかく・・・なんでも。）
 - ③ ②にせんたくばさみをつけて遊ぶ。

- 遊び方**
- ★せんたくばさみを「手」「足」に見立てたり、「つの」や「しっぽ」に見立てたり・・・
 - ★厚紙無しで、せんたくばさみだけをつなげてみても楽しいね、

せんたくばさみは、おうちにあるもので結構ですが、かたくて思うようにできないときにはやわらかいものを用意すると楽しく遊べます。



顔は何かに見立てやすいですが、顔でなくても、模様でもなんでもいいですよ。乗り物でもオバケでも。
『これな～んだ？』をたくさん楽しみましょう。大人もハマってしまいます。

～紙で遊ぼう～ 「きゅつきゅつの輪」

《材料》◆新聞紙または広告紙 ◆セロテープ
あとは、遊び方によって 丸シールやスズランテープ等、適宜準備してみてください。

- 作り方**
- ① 新聞紙 1 枚を開き、半分に折る。

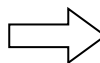


半分に折って



- ② 新聞紙を斜めに丸めていく。初めの丸めかたの加減は大人がやってあげると良いでしょう。

少しきつめに巻き始めます・・・



③ セロテープでとめて棒状にする。

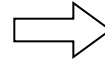


④ 棒を縦に持って、両手の親指と人差し指で交互にきゅっきゅっと押していく。

押す力加減は、お子さんの指と一緒に大人がやってあげるとわかりやすいと思います。



ゆっくり・ゆっくり・「きゅっきゅつ」と言いながら、押していくと楽しいね。



⑤ 丸くしてセロテープでとめてできあがり。



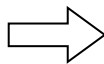
こんなふうになります。

～新聞紙で作る？ 広告紙で作る？～
新聞紙は柔らかいので、お子さんの指の力でできます。（もちろん大人の指も応援してね。）
広告紙は色があるので、出来上がりが楽しいです。また新聞紙より硬いので壊れにくいです。
作りたいものによって紙を選ぶといいですね。

遊び方

★鈴をつけて（モールでつけるとつけやすい）手づくり楽器「鈴」の出来上がり。

♪好きな曲に合わせて鳴らしたり踊ったりしてみよう。



鈴にモール通してつける。



スズランテープで飾りをつけてみました。

★小さい輪にして、丸シールを貼ったり、模様をかいたりして

ドーナツの出来上がり。たくさん並べてドーナツ屋さんごっこができますね。



★輪投げをしよう

輪投げ・・・キラキラドームも使ってみました。うまく入る



その他にも・・・いろいろな遊び方がありますね。

★頭のにせて落とさないように歩けるかな？

★(ハンドルに見立てて)運転手さんになろう！出発進行！

遊びの名前(「きゅっきゅつの輪」「キラキラドーム」等)は遊びながら名前を変えてみるのもいいですね。オリジナルの名前ができるとう遊びに愛着がわきますよ。



～ペットボトルで遊ぼう～ 『キラキラドーム』

《材料》◆ペットボトル（500ml）2本

- ・2本のうち1本は炭酸用のものが良いです。きれいにできあがります。転がして遊ぶこともできるように側面が平らなものが良いです。
- ・もう1本は、じょうごで水を入れる時に使うだけなので、どんなペットボトルでも大丈夫です。
- ◆洗濯糊（100mlくらい）◆スパンコール（10個～15個くらい）◆水400mlくらい
- ◆ビニールテープ（水がこぼれないようにキャップとボトルをとめるため）
- ◆じょうご（無くてもできますが、あるとスムーズで楽しいです。100円ショップにあります。）

作り方

- ① 炭酸用のペットボトルに洗濯糊を入れる。（下から5cmくらいまで）
- ② ①にスパンコールを入れる。誤飲に注意！（口に入れる心配のない年齢のお子さんは、自分で入れてみるのも良いですが、誤飲には十分に注意してください。）
- ③ もう1本のペットボトルに水を入れて、じょうごを使って②に水を注ぐ。



水を入れるのはお母さんのお仕事、じょうごを押さえて「もう、いっぱいになったよ」とか「まだまだ・・・」とか「もうすこし」など教えるのがお子さんのお仕事・・・というように親子で分担をしながら作っても楽しいですね。
じょうごが無い時は、水道から直接水を入れましょう。



- ④ キャップをしめて、ビニールテープでしっかりとめる。出来上がり。

遊び方

- ★逆さまにしたり、元に戻したりして、スパンコールがゆっくり動くのを見て楽しむ。
 - ・机の上に置いてながめたり、床に置いて寝転がってながめたり・・・。何回も何回も・・・。
- ★スパンコールの形や色を探しこする。
 - 「ほしはある？」「ハートは？」「丸い形は？」「お家の形は？」「ピンクは何個ある？」等々。
- ★転がして遊ぶ。
 - お母さんと少し離れて向かいあって、お母さんのところまで転がしてみよう。ころころ・・・ころころ・・・
 - 今度はお母さんがお子さんのところまで転がしましょう。ころころ・・・ころころ・・・
 - うまく届かな。

ラメを入れてもきれいです。
ゆっくり落ちていきます。

スパンコールの色が落ちてピンクの水になりました。

なぜ？どうして？

支援室では2歳児クラスで作るので洗濯糊のことを「まほうの水」と言っていますが、もっと年齢が高いお子さんと作る時には「洗濯糊を入れるとスパンコールはゆっくり落ちるね。水だけだと早く落ちるね。どうしてかなあ。」等と考えてみたりして、洗濯糊と水の重さの違いに気づかせたりするのもいいですね。



絵本紹介 『ケーキ』 小西英子 さく

こどものとも年少版 福音館書店

これを読んだらすぐにケーキを作りたいくなっちゃう！

もし、できたら・・・親子で作ってみるのもいいですね。
（全部作らなくても・・・例えばスポンジは買ってきてトッピングだけをしてみるとか・・・それだけでも楽しいですね。）

